



小児（5～11歳）の新型コロナワクチン接種について

小児（5～11歳）の新型コロナワクチン接種情報をお知らせします。

ワクチン接種は強制ではありません。接種の効果と副反応のリスクの両方をご理解いただいた上で、接種を受けるかどうかご検討ください。

ワクチン接種を受けている、受けていないなどの理由で心無い言葉を掛けたり、差別的な対応をとったりすることは絶対にやめましょう。

副反応

12歳以上の方と同様、接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱など、さまざまな症状が確認されており、ほとんどが軽度または中等度で回復しています。

現時点で得られている情報からは、安全性に重大な懸念は認められないと判断されています。

発現割合	症状
50%以上	接種部位の痛み、疲労
10～50%	頭痛、注射した部分の発赤や腫れ、筋肉痛、悪寒
1～10%	下痢、発熱、関節痛、嘔吐

※接種後7日間にみられたさまざまな症状

ワクチン接種の効果

ワクチンを接種することで、新型コロナウイルスに対する免疫ができます。そのため、感染した際に重症化しにくくなります。

5～11歳における2回接種後7日以降の発症予防効果は、90.7パーセントと報告されています。

※オミクロン株が出現前のデータ

ワクチンを接種した後も、マスク、手洗いなどの感染予防を続けるな—し。



対象者

5歳から11歳の方

※5歳になった翌月に通知します。

使用するワクチン

ファイザー社のこども用のワクチン

※12歳に到達した方は、大人用のファイザーワクチンになります。

接種回数

2回（3週間の間隔をあけて接種）

接種時期

3月7日(月)～9月30日(金)

接種場所

岡沢クリニック・愛媛県立南宇和病院

